

# 精密3D電子基盤情報の整備

(概算要求額 51,524千円)

## 【背景・目的】

近年多発する地震・台風・集中豪雨による水害などの自然災害に対し、被害の未然防止や災害対策等に極めて有効な、詳細な標高データ整備を目的とする。

## 【施策の概要】

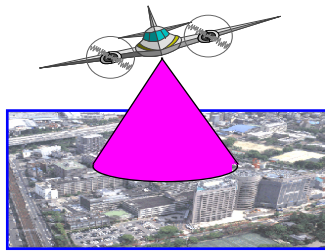
全国の主な都市域の人口集中地区(DID)を対象に、新しい測量技術である航空レーザ測量による5mメッシュの精密な三次元標高データを整備し、提供する。

## 【効果】

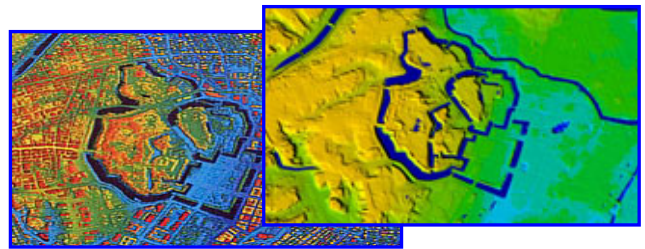
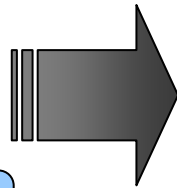
都市域の詳細な標高データを解析処理することにより、さまざまな施策立案のための資料を提供。

- ・防災対策(ハザードマップの基礎情報、津波・氾濫シミュレーション等)
- ・都市再生(景観シミュレーション、都市開発プラン策定等)
- ・3Dによる視覚化(鳥瞰図の作成、3Dカーナビ等)

## 全国の主な都市域における精密3D電子基盤情報の整備



航空レーザ測量による  
精密3D(三次元)データの取得

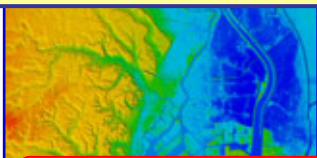


精密3D電子基盤情報  
基盤的地理情報

## 精密3D電子基盤情報の利用

### 防災対策

#### ハザードマップの基盤情報



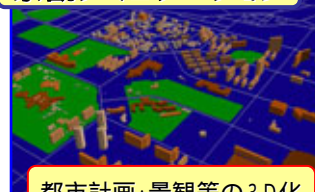
被災想定地域の抽出・避難地の選定



中央防災会議

### 都市再生

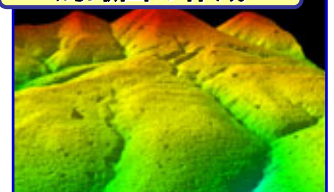
#### 景観シミュレーション



都市計画・景観等の3D化

### 3Dによる視覚化

#### 鳥瞰図の作成



#### 津波・氾濫シミュレーション



高精度な災害の再現と予測

#### 都市開発プラン策定



住民ヒアリングへの活用

#### 3Dカーナビ

